

保健師の地域組織との パートナーシップ構築活動評定尺度の信頼性妥当性の検証

・はじめに

現在、健康を取り巻く課題や自治体の行政サービスの変化により、地域保健の役割は多様化し、行政を主体にした取り組みだけでは、住民のニーズに応じていくことが困難な状況になっています。また、地域の健康課題の改善に向けて主体的に公益的な活動をしている組織（地域組織）は、地域で数多く活動し、増加傾向にあります。このような現状の中、自治体と地域組織とのパートナーシップが求められています。しかし、保健師の地域組織とのパートナーシップ構築に向けた活動については明らかにされておらず、そのために保健師のパートナーシップ活動に戸惑いが生じている状況が見られます。

そのため本研究では、全国で市町村保健師の皆様にも、地域組織とのパートナーシップ構築にむけた活動の現状に関する調査を実施したいと考えております。本研究により、保健師の地域組織とのパートナーシップ構築活動の基軸が明らかになり、保健師自身がパートナーシップ構築活動を評価できることによって、効果的なパートナーシップに向けた活動の改善に貢献できると考えています。なお、本研究は、文部科学研究費（基盤研究C）『地域保健分野で活動するNPO アセスメント指標の開発』の一環として行っています。

・対象

対象施設：全国の1742市町村

対象者：対象施設の地域組織に関わった経験のある保健師

・研究内容

アンケート調査を実施します。調査内容は以下の通りです。

(1) 属性

年齢、保健師経験年数、最終学歴、職位、市町村規模、地域で主体的に公益活動を行っている地域組織に関わった経験

(2) 保健師の地域組織とのパートナーシップ構築尺度案30項目

(3) 行政保健師のネットワーク形成実践技術尺度21項目

・個人情報の管理について

調査は無記名で行いプライバシーの保護に配慮いたします。調査内容は研究者以外に遺漏せず、資料は研究室の鍵のかかった場所で保管し、研究終了後、紙類は細断、電子データは削除、破棄し、データの二次利用は行いません。なお、結果を学会等で発表し、関連する専門学会誌等に掲載する場合は、匿名性を保証します。

・研究期間

研究期間は倫理審査承認日より平成 27 年 3 月 31 日までです。

・看護上の貢献

本研究により、対象者への直接的な貢献は少ないと考えますが、全国規模で調査することによって、保健師の地域組織とのパートナーシップ構築活動の基軸が明らかになり、保健師が地域組織とのパートナーシップを構築する際の効果的な活動に貢献できると考えています。

・研究機関

研究責任者 九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野 助教 重松由佳子
研究分担者 九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野 教授 鳩野洋子
助教 木村一絵

連絡先：〒812-8582

福岡市東区馬出 3-1-1

Tel : 092-642-6706

担当：重松由佳子